

とれいん とれいん

2010年1月1日

発行責任者 : 加藤 正利

新年あけましておめでとうございます。

去年は、様々な分会活動に御協力ありがとうございました。OB共々、阿木での花見、分会大会、横山さんの慰労会など多くの分会行事を開催してきました。また、「蒲郡駅事件」の闘いも、地本・本部とともに進めてきました。しかし、地方裁判所・高等裁判所で不当な判決が出されました。日本では「足利事件」を見れば分かるように、相次いで「えん罪」が発生しています。デッチ上げ事件を許さず、今年も加藤さんとともに闘っていきます。

一方職場では、高圧的な労務管理が横行しています。神領では、夢を持ちJRに就職した若者が三人も職場から去ってしまいました。何が彼らに退職願を書かせたかは不明ですが、会社による金太郎飴のような社員作りに、夢を奪われ職を奪われたのも原因の一つと思います。社員を大切にしない会社には、未来はないと言われています。私たちは今年も一人一人のために闘っていきます。

また安全では、本末が転倒して安全のために健康を害した社員が多く発生しました。私たちは、安全とはお客様の生命と乗務員の生命など生命を守るものと考えます。福知山線事故からは悲しみ、苦しみしか生まれなかったことを、今なお忘れることはできません。しかし、職場では安全が生命を脅かしています。日勤再教育の範囲は、事故・ミスから基本動作不良、規律違反などに広がり再教育の目的を逸脱しています。社員教育がイジメに使われています。その結果として心身のバランスを崩している社員が多くいます。

働きがいを持って、安心して、健康に働ける職場作りを目指して、東海神領分会は奮闘していきます。今年もよろしくお祈りします。

働きがいを持って、安心して、健康に働ける職場作りを目指して、東海神領分会は奮闘していきます。今年もよろしくお祈りします。



波辺繁さんの家から見た
明智鉄道



JR東海労 神領分会